

エコアクション21

環境経営レポート

(取組期間 2023年4月～2024年3月)



2024年4月30日

ジェイフィルム株式会社 静岡工場



認証番号 0014140

目次

■ 組織概要	2～3
■ 実施体制	4
■ 課題とチャンス	5
■ 環境経営方針	6
■ 環境経営目標	7
■ 環境経営計画	8
■ 環境経営活動計画	9～10
■ 環境経営目標の実績と評価	11
■ 月次グラフ	12～13
■ 環境経営活動計画の評価と次年度の取組	14
■ 実施した取組内容	15
■ 設備投資・中長期計画	16
■ 環境関連法規等の確認結果並びに違反・訴訟の有無	17～18
■ 代表者による全体の評価及び見直し・指示	19

組織概要

1-01 02

1. 事業所名および概要

会社名： **J-Film** ジェイフィルム株式会社 静岡工場

工場長名：伊藤 政明

事業活動：合成樹脂原料による包装資材の加工製造並びにその販売

創立：1955年1月(全社) 2006年5月(静岡)

資本金：12億2千2百万円(令和4年度全社)

売上高：341億円(令和4年度全社) 14億円(令和4年度静岡工場)

従業員数：34名(2024.4現在)

敷地面積：5,684㎡(床面積:2,955㎡)

所在地：静岡県牧之原市坂部3405-1(東京、千葉、大阪、香川、宮城、群馬、滋賀に事業所あり)

環境管理責任者：秋元 純一

事務局：三須 清貴 内田暖

連絡先：TEL:0548-29-0911 FAX:0548-29-0948
ホームページ：<https://www.jfilm.co.jp/>

2. 事業の形態

対象範囲：ジェイフィルム静岡工場全体・全活動

事業年度：4月1日～3月31日

就業形態：週休2日
日勤・交代勤務



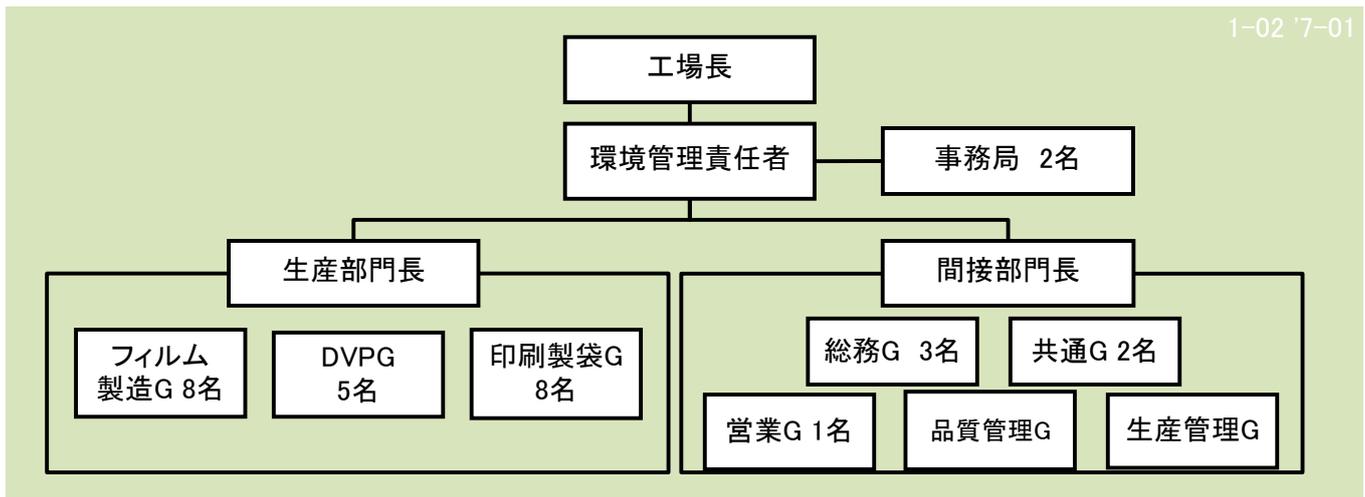
組織概要

3. 沿革

- 1955年1月 東京都台東区に和田化学工業(株)資本金200万円で設立、ポリエチレンフィルム製造開始
- 1956年4月 東京都江戸川区に小松川工場建設
- 1960年10月 ラミネートフィルム製造開始
- 1963年10月 名古屋営業所、工場開設
- 1964年12月** 千葉県八千代市に千葉工場建設、小松川工場全面移転、
その後静岡、長野、仙台、盛岡の各地に営業所、工場を開設
- 1981年4月 三菱油化(株)のグループ入り
- 1986年5月 千葉県香取市に成田工場建設、千葉工場全面移転
- 1994年10月 三菱油化(株)と三菱化成(株)合併により※三菱化学(株)のグループ入り
- 2002年1月 日本ポリケム(株)の子会社である和田化学工業(株)、ダイヤプラスチック(株)、
菱阪包装システム(株)の三社統合、ジェイフィルム(株)に社名変更
- 2005年2月 成田第二工場本格操業開始
- 2006年5月 東遠化学工業(株)と統合により、静岡県牧之原市坂部へ工場移転開始。
同 営業部門牧之原市坂部に移転。**
- 2006年8月 藤枝より牧之原への機械設備移設完了。牧之原での本格操業開始。**
- 2012年4月 三菱ケミカルホールディングスグループに属する三菱樹脂(株)(現 三菱ケミカル(株))のグループ入り
- 2016年4月 三菱樹脂(株)(現 三菱ケミカル(株))のパッケージ事業を承継し、
菱成樹脂(株)及び菱江産業(株)の営業部門を会社分割により経営統合
- 2019年4月 金成ジェイフィルム、長浜ジェイフィルム を統合
- 2021年4月 関西化学工業(株)を統合

実施体制

1-02 '7-01



環境経営システムの役割・責任及び権限

①工場長

- ・環境経営に関する統括責任者 ・経営における課題とチャンス、明確にする
- ・必要な人材・設備・資金・時間等を適切に準備する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知
- ・環境管理責任者の任命と環境管理システムの実務上の権限委任 ・実施体制の構築
- ・必要に応じて環境内部監査チームを設置し監査実施の指示及び監査結果の対応を環境管理責任者に指示する
- ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・緊急事態発生時の統括

②環境管理責任者

- ・環境管理システム全体の構築/運用/維持に関する実務上の権限/責任を持つ
- ・工場長への環境管理システム全体の構築/運用/維持の状況の報告 ・環境関連法規等の取りまとめと見直し
- ・環境目標/環境活動計画の策定と見直し ・環境方針/環境目標/環境活動計画の遂行
- ・工場長へ代表による全体の評価と見直しに必要とする情報を報告する ・環境活動レポートの作成
- ・環境関連の対外的窓口 ・緊急事態発生時の指揮 ・中間審査/更新審査の受審査

③事務局

- ・環境管理責任者の役割全般の補助
- ・環境経営システムの運用に係わるデータの収集/まとめ/記録/管理

④部門長

- ・環境活動計画の推進と必要とする資源の準備 ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施 ・運用管理、監視・測定、記録管理
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告

⑤全従業員

- ・環境方針/環境目標の理解と環境への取り組みの重要性の自覚
- ・決められたことを守り自主的、積極的、主体的な環境活動への参加

課題とチャンスの明確化と環境への取組

2-01

課題		チャンス
内部	①生産性・生産安定性 ②歩留・収益 ③エネルギー使用量 ④廃棄物削減 ⑤エネルギー消費の細分化 ⑥社有車 ガソリン最適化 ⑦コンプライアンス順守	①収益改善活動 ②収益改善活動 ③省エネによる競争力向上 ④再資源化 ⑤セクション毎の使用量に応じた省エネ計画の立案 ⑥社有車更新時 エコカーへ切り替え ⑦顧客の信頼性向上
外部	⑧原材料費の高騰 ⑨顧客への環境配慮製品のニーズ	⑧リサイクル品へのシフト ⑨顧客の信頼性向上



環境経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ■ 二酸化炭素排出量の抑制 <ul style="list-style-type: none"> * 使用電力の削減 * 使用化石燃料の削減 * 廃棄物排出量の削減と分別収集 * 水使用量の削減 * 化学物質使用量の削減 ■ 環境法規制の遵守 ■ 従業員の環境意識向上



環境経営目標と活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境データの把握 ■ エネルギー・廃棄物排出量の削減 ■ 改善提案の提出

環境経営方針

3-01

【環境理念】

ジェイフィルム株式会社は、社会の一員として、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物の削減・再利用、地球環境の保全など自然環境の保護に関して積極的な改善を行い、地域との調和をはかり、将来にわたり発展可能な社会の形成に貢献する。

また、事業活動を遂行するにあたり、レスポンシブル・ケアの精神の下に、国内外の環境改善に関する法令の遵守はもとより、積極的にあらゆる改善活動を行い、無事故無災害に努め、社会との共存共栄を図る環境・安全に係る改善実績を積極的に開示し、社会からの信頼を得るよう努める。

【行動指針】

環境経営に積極的に取り組むために環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組めます。

1. 省資源/省エネルギー(電気・水・化石燃料)及び、廃棄物の削減並びに二酸化炭素の排出量削減を目指し、作業効率の最適化、生産性/歩留の向上及び、加工技術の開発に努めます。
2. 環境目標及び、環境活動計画を定め、環境経営システムによる継続的活動に努めます。
3. 環境に関する法律・規制 及び、その他の要求事項を遵守し、環境改善に努めます。
4. この環境方針を全従業員に周知するとともに一般公開し、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2023年4月1日

静岡工場長
伊藤 政明

環境経営目標

6-01

項目		単位	2022年度実績 基準	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	
二酸化炭素排出量	排出量	kg-CO ₂	919,710	910,513	901,428	892,288	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
電力	排出量	kWh	2,226,841	2,204,573	2,182,304	2,160,036	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
LPG	排出量	m ³	1,878	1,859	1,840	1,821	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
ガソリン	排出量	ℓ	6,508	6,443	6,377	6,312	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
軽油	排出量	ℓ	361	357	354	350	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
灯油	排出量	ℓ	21,717	21,500	21,283	21,065	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
廃棄物 1	紙ごみ他	排出量	kg	4,040	4,000	3,959	3,919
		基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ダンボール・紙管	排出量	kg	12,923	12,794	12,665	12,535
		基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃棄物 2	廃プラスチック	排出量	kg	227,245	224,973	222,700	220,428
		基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	廃油	排出量	kg	570	564	559	553
		基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
水	使用量	m ³	624	618	612	605	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
化学物質(トルエン)	使用量	kg	14,227	14,085	13,942	13,800	
	基準年度比	%	-	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
自社の活動	改善提案	件	59	40	40	40	

※CO₂排出量 kg-CO₂=電力(kWh)×0.379+LPG(m³)×3.00+ガソリン(ℓ)×2.32+軽油(ℓ)×2.58+灯油(ℓ)×2.49

※二酸化炭素排出量削減に関わるエネルギー使用量の管理目標は、基準としては2022年度実績を使い、「基準値の1%削減」を目標値として活動する。

※廃棄物排出量削減、水使用量その他も同様2022年度実績基準、目標は「基準値の1%削減」で活動する。

※金属くずや木くずの廃棄物は、排出頻度が少ない為、目標管理の対象から除外

環境経営計画

'3-03

項目	責任者	日程
①電気使用量の削減		
日中・不要時の消灯、電源OFF(設備・PC)	三須 (平岡)	通年
空調の設定温度管理(冷房26℃暖房20℃)		
終業後の速やかな退社(NO残業デー実施)		
デマンドコントロールによる使用量の抑制		
②ガソリン、軽油使用量削減		
エコドライブ推進(運転記録管理/燃費向上)	小幡	通年
車両の定期点検		
③灯油、LPG使用量削減		
断熱シート等で熱のロスを防ぐ(灯油)	大澤	通年
紙断トラブル改善(LPG)		
④水使用量の削減		
節水の呼びかけ(節水標示)	三須	通年
DVP保湿水 蛇口水流計設置(使用水バランス化)		
⑤化学物質(PRTR対象物質)の削減		
トルエンインキ使用量削減 脱トルエンインキへの切替促進/検討	大澤	通年
⑥廃棄物1の削減		
リサイクルステーション設置による再資源化推進(コピー用紙/封筒等)	桑畑	通年
使用済み紙管の再利用(紙管購入量、及び廃棄紙管の削減)	石井	
⑦廃棄物2の削減		
客先クレーム・構内返品品の削減(廃プラ削減)	秋元	通年
製造ロスの削減(廃プラ削減)	石井	
インキ・溶剤の適正発注/適正管理、及び調合ミス防止(廃油削減)	大澤	
⑧自社の活動		
改善提案件数の促進(基準は2件/人・年 以上)(対象は製造部門)	秋元	通年
⑨環境教育、環境美化活動		
緊急時対応訓練の実施	三須	通年
全社員で環境目標の共有	秋元	
工場周辺の美化に取り組む		

環境経営活動計画推進表

6-2

○:達成度100% △:達成度95% ×:達成度94%以下 -:実施なし

環境目標の項目		推進担当者	2023年度(2023-4~2024-3)環境活動計画/実績と評価												年間評価
		環境目標	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24/1月	2月	3月			
二酸化炭素 排出量削減 (省エネルギー) ※電力排出係数 ・中部電力調整後数値使用 0.379 kg-CO ₂ /kwh	環境目標	基準値	目	85,418	83,614	73,517	84,053	75,249	68,726	71,771	71,179	79,356	77,361	未達成	
		・基準年:2022年度	標	225,687	309,300	382,818	466,871	542,121	610,847	682,617	753,796	833,152	910,513		
		・基準値:919,710kg-CO ₂	実績	77,580	76,735	79,376	78,969	78,785	83,521	71,501	76,281	79,277	77,152		
		・2023目標値:910,513kg-CO ₂	実績	223,438	300,174	379,550	458,518	537,303	620,824	692,325	768,606	847,883	925,035		
		・2023実績値:	実績	101%	103%	101%	102%	101%	98%	99%	98%	98%	98%		
			実績	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△		
・電力消費削減 CO ₂ 割合: 92.0%	環境目標	基準値	目	206,144	203,268	180,601	204,116	182,291	163,794	173,537	175,089	193,952	186,728	未達成	
		・基準年:2022年度	標	541,197	744,465	925,066	1,129,182	1,311,473	1,475,266	1,648,803	1,823,893	2,017,845	2,204,573		
		・基準値:2,226,841kwh	実績	187,037	185,498	194,581	192,764	190,492	203,441	174,376	185,686	191,503	184,871		
		・2023目標値:2,204,573kwh	実績	542,318	727,816	922,397	1,115,161	1,305,653	1,509,094	1,683,470	1,869,156	2,060,659	2,245,530		
		・2023実績値:	実績	100%	102%	100%	101%	100%	98%	98%	98%	98%	98%		
			実績	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△		
三須 (平岡)	環境計画	日中・不要時の消灯、電源OFF設	目	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	未達成	
		空調の設定温度管理(冷房26℃暖	標	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		終業後の速やかな退社(NO残業手	実績	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
		デマンドコントロールによる使用量	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		評価レベル	実績	○	○	○	○	○	△	△	△	△			
		総合評価レベル	実績	○				○				△			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	対前年と比較し生産量が5.5%ダウンした影響あり。				対前年と比較し生産量が12%ダウンしている為、効率よく稼働出来ていない。				対前年と比較し生産量が16%UPLしている為、効率よく稼働出来たと判断。			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	印刷生産量が対前年36%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年44%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年6.7%ダウンしているがそれ以上に効率よく生産できている。			
・LPG消費削減 CO ₂ 割合: 0.004	環境目標	基準値	目	167	140	107	89	114	143	124	164	225	173	達成	
		・基準年:2022年度	標	580	720	826	915	1,029	1,172	1,296	1,461	1,686	1,859		
		・基準値:1,878㎡	実績	110	62	38	37	82	117	137	113	171	167		
		・2023目標値:1,859㎡	実績	387	450	487	524	607	724	861	974	1,146	1,312.3		
		・2023実績値:	実績	150%	160%	170%	174%	170%	162%	151%	150%	147%	142%		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
大澤	環境計画	紙断トラブル改善	目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	達成	
			標												
			実績												
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		評価レベル	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		総合評価レベル	実績	○				○				○			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	印刷生産量が対前年36%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年44%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年6.7%ダウンしているがそれ以上に効率よく生産できている。			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	印刷生産量が対前年36%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年44%ダウンした影響あり。				印刷生産量が対前年6.7%ダウンしているがそれ以上に効率よく生産できている。			
・ガソリン消費削減 CO ₂ 割合: 0.015	環境目標	基準値	目	633	581	396	649	575	417	630	335	540	598	達成	
		・基準年:2022年度	標	1,722	2,304	2,699	3,348	3,923	4,340	4,970	5,305	5,845	6,443		
		・基準値:6,508L	実績	586	588	521	431	522	468	556	429	540	637		
		・2023目標値:6,443L	実績	1,484	2,072	2,592	3,023	3,545	4,013	4,569	4,998	5,538	6,175		
		・2023実績値:	実績	116%	111%	104%	111%	111%	108%	109%	106%	106%	104%		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
小幡	環境計画	エコドライブ推進(運転記録管理/燃	目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	達成	
		車両の定期点検	標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		評価レベル	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		総合評価レベル	実績	○				○				○			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	生産量ダウンによるフォークリフトガソリン消費減。営業車エコ運転による消費量減。				前年と比較し長距離の出張が減っている事とエコドライブが出来ている。				前年と比較し長距離の出張が減っている事とエコドライブが出来ている。			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	生産量ダウンによるフォークリフトガソリン消費減。営業車エコ運転による消費量減。				前年と比較し長距離の出張が減っている事とエコドライブが出来ている。				前年と比較し長距離の出張が減っている事とエコドライブが出来ている。			
・軽油消費削減 CO ₂ 割合: 6E-04	環境目標	基準値	目	27	0	43	0	0	48	0	0	0	49	達成	
		・基準年:2022年度	標	219	219	261	261	261	309	309	309	309	357		
		・基準値:361L	実績	0	0	68	37	0	0	0	45	0	50		
		・2023目標値:357L	実績	0	0	68	105	105	105	105	149	149	199		
		・2023実績値:	実績	-	-	384%	250%	250%	296%	296%	207%	207%	180%		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
小幡	環境計画	エコドライブ推進(運転記録管理/燃	目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	達成	
		車両の定期点検	標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		評価レベル	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		総合評価レベル	実績	○				○				○			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。				2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。				2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。				2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。				2バンによる客先への納品が無くなった。急ぎの納品が無くなった。			
・灯油消費削減 CO ₂ 割合: 0.06	環境目標	基準値	目	2,109	1,931	1,495	1,977	1,802	2,059	1,673	1,426	1,574	1,832	未達成	
		・基準年:2022年度	標	5,732	7,663	9,158	11,135	12,936	14,996	16,669	18,094	19,668	21,500		
		・基準値:21,717L	実績	2,010	1,960	1,660	1,890	2,060	2,000	1,490	1,790	1,980	2,000		
		・2023目標値:21,500L	実績	5,340	7,300	8,960	10,850	12,910	14,910	16,400	18,190	20,170	22,170		
		・2023実績値:	実績	107%	105%	102%	103%	100%	101%	102%	99%	98%	97%		
			実績	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△		
大澤	環境計画	断熱シート等で熱のロスを防ぐ	目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未達成	
			標												
			実績												
			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		評価レベル	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		総合評価レベル	実績	○				○				○			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	生産量は、対前年3%UPLしているが停止時間を減らし生産効率を上げた。				生産量は、対前年3%UPLしているが停止時間を減らし生産効率を上げた。セバ切れが低減出来生産効率向上。				生産量は、対前年5.7%ダウンしている影響あり。新人教育でトラブル増えた。			
		評価コメント (是正処置・予防処置含む)	実績	生産量は、対前年3%UPLしているが停止時間を減らし生産効率を上げた。				生産量は、対前年3%UPLしているが停止時間を減らし生産効率を上げた。セバ切れが低減出来生産効率向上。				生産量は、対前年5.7%ダウンしている影響あり。新人教育でトラブル増えた。			

環境経営活動計画推進表

6-2

○:達成度100% △:達成度95% ×:達成度94%以下 ー:実施なし

環境目標の項目		推進担当者	環境目標 環境計画		2023年度(2023-4~2024-3) 環境活動計画/実績と評価												年間評価
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24/1月	2月	3月			
廃棄物1 排出量削減 紙ごみ他 紙管・ダンボール	桑畑	環境目標	基準値(紙ごみ他) ・基準年:2022年度 ・基準値:4,040kg ・2023目標値:4,000kg ・2023実績値:kg ・有価雑紙合算	目標	337	317	366	297	317	396	446	307	297	366	達成		
				実績	891	1,208	1,574	1,871	2,188	2,584	3,029	3,336	3,633	4,000			
				実績	450	330	280	360	450	350	320	260	320	320			
				実績	1,110	1,440	1,720	2,080	2,530	2,880	3,200	3,460	3,780	4,100			
				実績	80%	84%	92%	90%	86%	90%	95%	96%	96%	98%			
				実績	×	×	×	×	×	×	△	△	△	△			
				目標	1,903	1,345	1,238	1,050	981	1,658	901	881	129	257			
				目標	4,424	5,770	7,007	8,057	9,038	10,696	11,597	12,478	12,607	12,865			
				実績	170	780	100	1,027	820	140	1,110	710	70	910			
				実績	1,790	2,570	2,670	3,697.0	4,517.0	4,657.0	5,767.0	6,477.0	6,547.0	7,457.0			
実績	247%	225%	262%	218%	200%	230%	201%	193%	193%	173%							
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
環境計画	リサイクルステーション設置による再資源化推進(コピー用紙/封筒等)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
環境計画	使用済み紙管の再利用(紙管購入量、及び廃棄紙管の削減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
環境計画	評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
四半期総合評価	総合評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
四半期総合評価	評価コメント (是正処置・予防処置含む)	紙管再利用により排出量を減らした。製袋工場でDVP向け包装紙が増っていった。 紙管再利用により排出量を減らした。紙ごみに付いては、リサイクルステーションの影響により排出量減となった。 紙管再利用により排出量を減らした。紙ごみに付いては、リサイクルステーションの影響により排出量減となった。															
廃棄物2 排出量削減 廃プラスチック 廃油	石井	環境目標	基準値(廃プラスチック) ・基準年:2022年度 ・基準値:227,245kg ・2023目標値:224,973kg ・2023実績値:kg ・有価プラスチック合算	目標	19,775	19,718	19,860	18,442	18,040	17,557	18,342	15,766	20,750	17,168	達成		
				実績	59,331	79,049	98,909	117,351	135,390	152,947	171,289	187,055	207,805	224,973			
				実績	18,164	16,856	15,245	18,018	17,801	17,573	15,575	15,363	16,799	23,659			
				実績	52,236	69,092	84,337	102,355	120,156	137,729	153,304	168,667	185,466	209,125			
				実績	114%	114%	117%	115%	113%	111%	112%	111%	112%	108%			
				実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				目標	0	168	0	0	0	0	198	0	198	0			
				目標	0	168	168	168	168	168	366	366	564	564			
				実績	200	0	0	0	0	0	0	0	0	200			
				実績	200	200	200	200	200	200	200	200	200	400			
実績	0%	84%	84%	84%	84%	84%	183%	183%	282%	141%							
実績	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○							
環境計画	客先クレーム・構内返品品の削減(廃製造ロス)の削減(廃プラ削減)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×					
環境計画	インキ・溶剤の適正発注/適正管理、及び誤合ミス防止(廃油削減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
環境計画	評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
四半期総合評価	総合評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
四半期総合評価	評価コメント (是正処置・予防処置含む)	生産量減により排出量も減っている。 生産量減により排出量も減っている。 全体の生産量対前年5%減の影響もあるが、それ以上にロスが減っている。 廃液について年間を通し対前年の生産量減の影響。廃プラについてはロス削減の影響あり。															
水使用量の削減 ・水使用量	三須	環境目標	基準値 ・基準年:2022年度 ・基準値:624m ³ ・2023目標値:618m ³ ・2023実績値:kg	目標	106	0	116	0	90	0	113	0	76	0	達成		
				実績	223	223	339	339	429	429	542	542	618	618			
				実績	81	0	60	0.0	63.0	0.0	75.0	0.0	49.0	0.0			
				実績	159	159	219	219.0	282.0	282.0	357.0	357.0	406.0	406.0			
				実績	140%	140%	155%	155%	152%	152%	152%	152%	152%	152%			
				実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				環境計画	節水の呼びかけ(節水標示)	-	-	○	○	○	○	○	○	○		○	○
				環境計画	DVP保湿度蛇口水流計設置(使用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
				環境計画	評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
				四半期総合評価	総合評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
四半期総合評価	評価コメント (是正処置・予防処置含む)	DVP保湿度の流量を絞った。 加工時保湿度の流量を絞った。 生産量が対前年5%減っているが加工時保湿度の流量を絞った影響が大きい。 年間を通し生産量が4%増えているが、流量を絞った影響が出た。															
自社の活動 ・改善提案	秋元	環境目標	基準値 ・基準年:2022年度 ・基準値:製造部門1人2件 ・2023目標値:40件 ・2023実績値:	目標	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	達成		
				実績	10	13	17	20	23	26	30	33	36	40			
				実績	11	6	2	3	2	3	4	7	5	8			
				実績	23	29	31	34	36	39	43	50	55	63			
				実績	232%	220%	188%	172%	156%	148%	145%	152%	152%	159%			
				実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				環境計画	各担当部署からの改善提案提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
				環境計画	評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
				四半期総合評価	総合評価レベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
				四半期総合評価	評価コメント (是正処置・予防処置含む)	事務局の提出も多く良好。 8月以降ベースダウンも目標値はクリアー。 8月以降ベースダウンも目標値はクリアー。 年間を通し目標値2件/人以上が達成できた。											
検印	計画策定時	環境管理責任者	秋元 '23-4/1	実績記入時	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤			
	工場長	伊藤 '23-4/1	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤				

環境経営活動計画の評価と次年度の取組

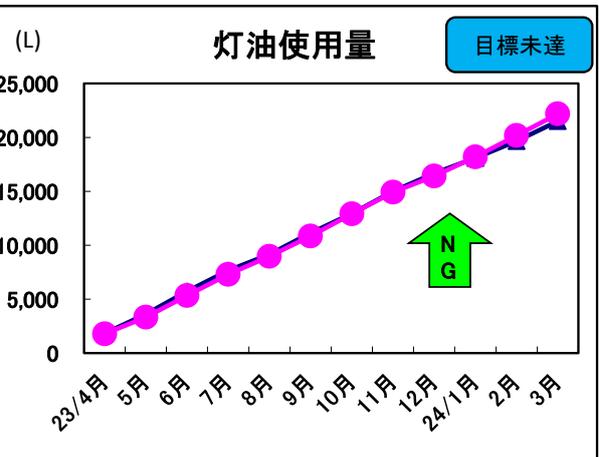
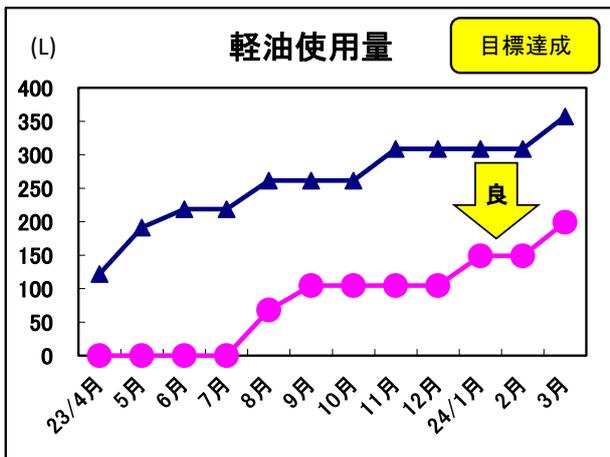
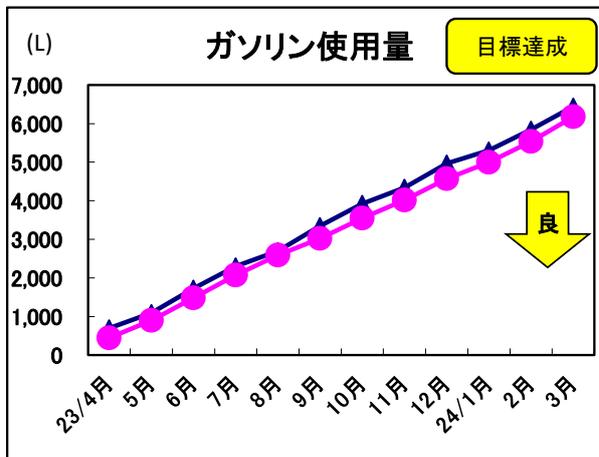
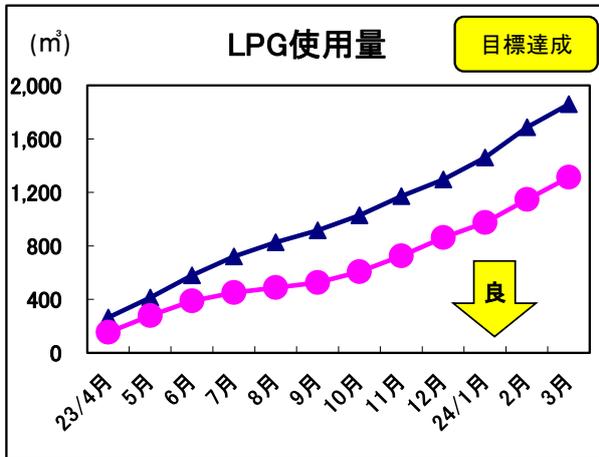
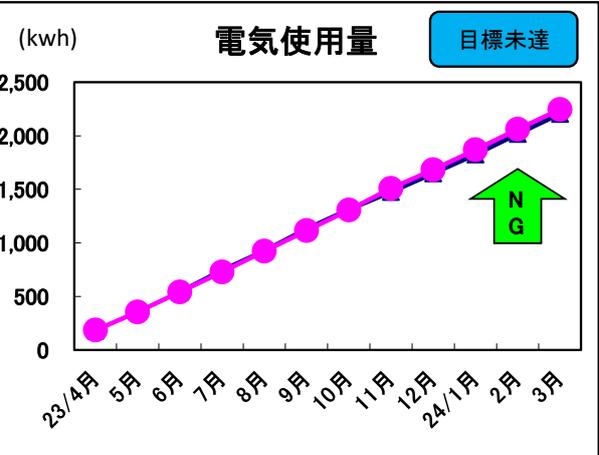
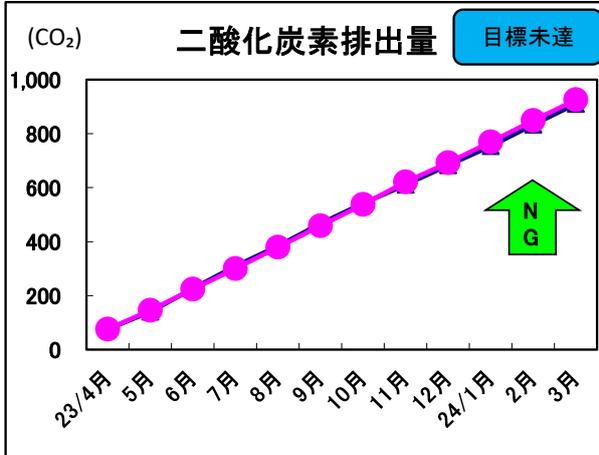
項目	評価	コメント	次年度の取組
①電気使用量の削減			
日中・不要時の消灯、電源OFF(設備・PC)	×	日中・不要時の消灯の徹底されなかった	継続
空調の設定温度管理(冷房26℃暖房20℃)	○	SWの上部に設定温度を標示	継続
終業後の速やかな退社(NO残業デー実施)	△	速やかな退社は徹底されていなかった	継続
デマンドコントロールによる使用量の抑制	○	抑制ができた	継続
②ガソリン、軽油使用量削減			
エコドライブ推進(運転記録管理/燃費向上)	○	経費削減もあり遠距離運転が減った	継続
車両の定期点検	○	業者へ依頼	継続
③灯油、LPG使用量削減			
断熱シート等で熱のロスを防ぐ(灯油)	○	断熱シートを活用中	継続
紙断トラブル改善(LPG)	○	紙継ぎトラブルは激減した。	継続
④水使用量の削減			
節水の呼びかけ(節水標示)	○	節水標示中	継続
DVP保湿水 蛇口水流計設置(使用水バランス化)	○	流量を絞り大幅削減につながった	継続
⑤化学物質(PRTR対象物質)の削減			
脱トルエンインキへの切替促進/検討	×	現段階で検討中	継続
⑥廃棄物1の削減			
リサイクルステーション設置による再資源化推進(コピー用紙/封筒等)	○	月3~10kg 有価へ	継続
使用済み紙管の再利用(紙管購入量、及び廃棄紙管の削減)	○	リサイクルにより大幅削減できた	継続
⑦廃棄物2の削減			
客先クレーム・構内返品物の削減(廃プラ削減)	×	今期は、想定外の大口クレーム発生	継続
製造ロスの削減(廃プラ削減)	○	昨年実績並みの結果となった	継続
インキ・溶剤の適正発注/適正管理、及び調合ミス防止(廃油削減)	○	昨年度は、調合ミス0	継続
⑧自社の活動			
改善提案件数の促進(基準は2件/人・年以上)(対象は製造部門)	○	2件/人以上達成できた	継続
⑨環境教育、環境美化活動			
緊急時対応訓練の実施	○	10/16実施	継続
全社員で環境目標の共有	○	3ヵ月毎の教育訓練実施	継続
工場周辺の美化に取り組む	○	10/30会社前側溝清掃	継続

環境経営目標の実績と評価

項目		単位	2023年度 目標値	2023年度 実績値	評価	コメント
二酸化炭素排出量	排出量	kg-CO ₂	910,513	925,035	△	生産量1%UPと夏場の猛暑の影響もあり
	基準年度比	%	-1.0%	2%		
電力	排出量	kWh	2,204,573	2,245,530	×	生産量1%UPと夏場の猛暑の影響もあり
	基準年度比	%	-1.0%	2%		
LPG	排出量	m ³	1,859	1,312.3	○	印刷対前年生産量23%減の影響
	基準年度比	%	-1.0%	-29%		
ガソリン	排出量	ℓ	6,443	6,175	○	経費削減 営業活動自粛の影響
	基準年度比	%	-1.0%	-4%		
軽油	排出量	ℓ	357	199	○	客先への緊急納品削減の影響
	基準年度比	%	-1.0%	-44%		
灯油	排出量	ℓ	21,500	22,170	×	DVP対前年生産量4%UP の影響
	基準年度比	%	-1.0%	3%		
廃棄物 1	紙ごみ他	排出量	kg	4,000	△	廃プラスチックから一部有価へ変更した影響
		基準年度比	%	-1.0%		
	ダンボール・紙管	排出量	kg	12,794	○	紙管の再利用の影響が大きかった
		基準年度比	%	-1.0%		
廃棄物 2	廃プラスチック	排出量	kg	224,973	○	長期在庫処分削減の影響
		基準年度比	%	-1.0%		
	廃油	排出量	kg	564	○	印刷対前年生産量23%減の影響
		基準年度比	%	-1.0%		
水	使用量	m ³	618	○	DVP加工の保水の流量を絞った結果が出た	
	基準年度比	%	-1.0%			-34%
化学物質(トルエン)	使用量	kg	14,085	○	印刷対前年生産量23%減の影響	
	基準年度比	%	-1.0%			-23%
自社の活動	改善提案数	件	40	63	○	従業員が積極的に提案を実施

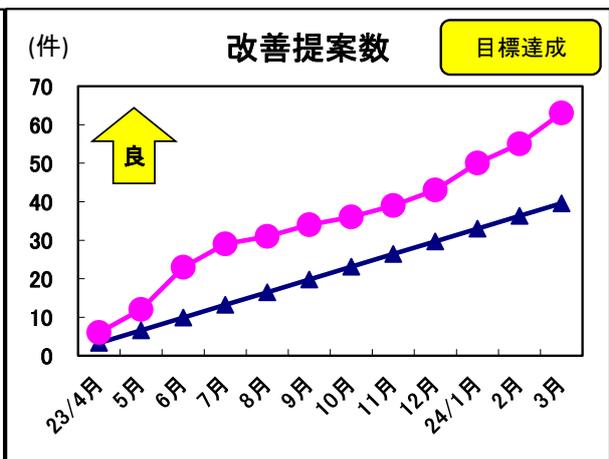
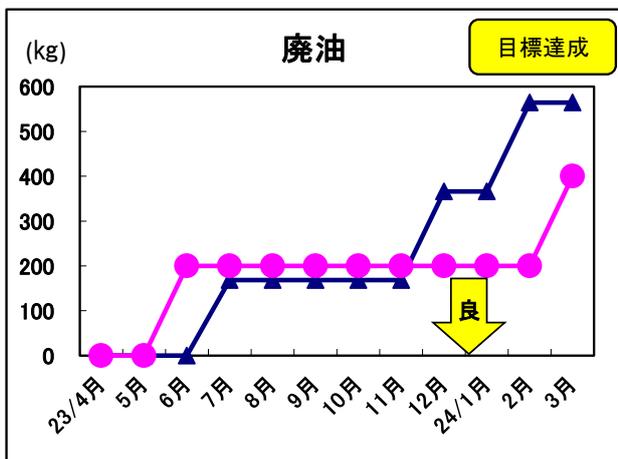
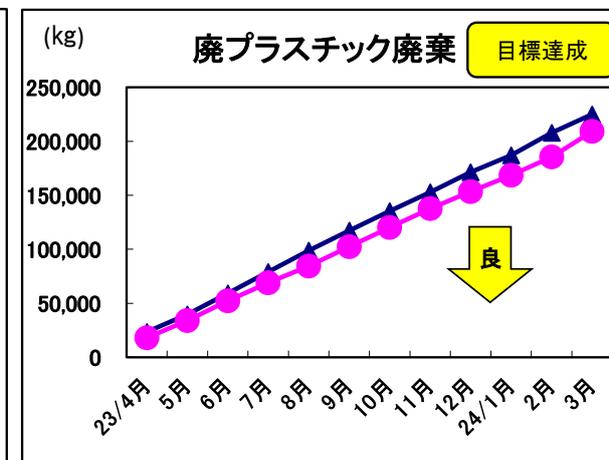
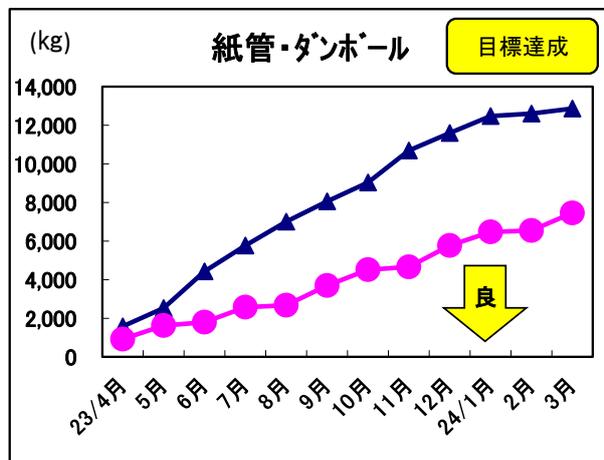
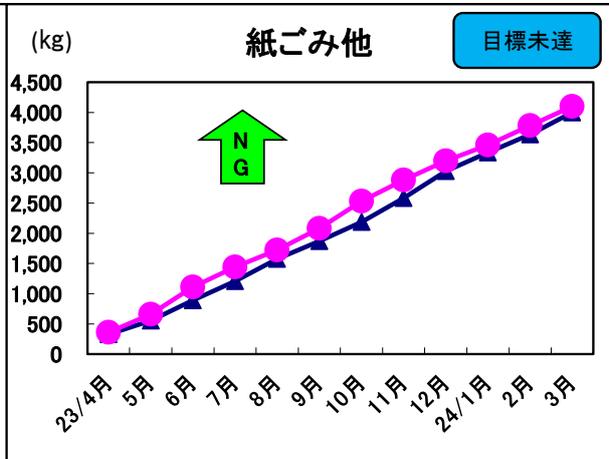
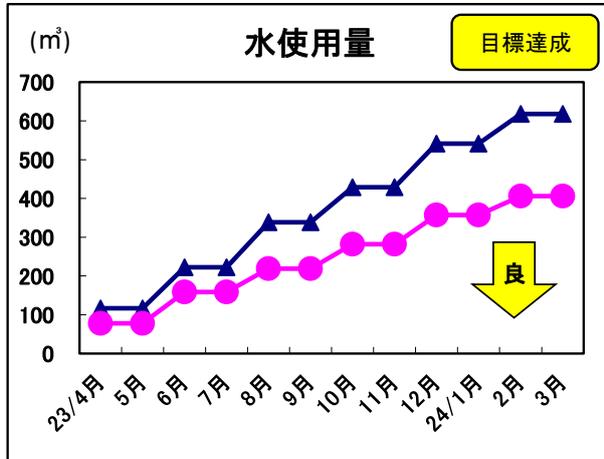
環境経営計画の実績・取組結果(月次グラフ)

▲…目標 ●…実績



環境経営計画の実績・取組結果(月次グラフ)

—▲— …目標 —●— …実績



実施した取組内容

エコ活動

設定温度
冷房26℃ 暖房20℃
責任者：三須（平岡）

節電標示

18:30退社
水曜NO残業18:00退社
責任者：三須（平岡）



節水標示



教育・地域貢献

設備投資・中長期計画

	推進部門	設備投資 中長期計画	設備取得時期	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度		
				前期(~9月)	後期(~3月)									
工場共通 設備・機械	製造G	1.照明設備のLED化	2022年度	全場所完了										
	全社	2.エアコン更新												1台更新検討
		パッケージエアコン(15年)	2008年度											----->
		ルームエアコン(10年)	2006年度						1台更新検討		1台更新検討			----->
	3.冷蔵庫更新(13年)	1986年度							1台更新検討		1台更新検討			----->
総務G	4.社有車更新	2005年度											2tバン更新検討	
製造部門共用 施設・設備	製造G	1.フォークリフト更新							1台更新検討					
		バッテリー式(10年)	2014年度						----->				1台更新検討	
		充電式(15年)	2009年度										----->	
	2.コンプレッサー更新(15年)	2000年度								1台更新検討			----->	
製造部門製造 施設・設備	製造G	1.インフレ施設 15式		} 詳細は別途										
		2.印刷機械 1式												
		3.シーリング機械 1式												
		4.製袋機械 2式												
		5.GZ機械 1式												
		6.DVP機械 2式												
		7.検反機												
	環境管理責任者	秋元	実績記入時	環境管理責任者	秋元	秋元	秋元	秋元						
	工場長	伊藤		工場長	伊藤	伊藤								

計画 -----> 実績 ----->

2023/4/1

環境関連法規等の確認結果並びに違反・訴訟の有無

法規等の名称	適用内容	当社対応	○・×
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【廃棄物処理法】	・産業廃棄物の保管 ・電子マニフェスト管理	・表示板: 60×60cm以上 ・金属製の廃棄箱の設置 ・保管基準遵守 ・特別管理産業廃棄物管理責任者の設置(資格が必要) ・帳簿を備え5年間保管	○ ○ ○ ○ ○
	・産業廃棄物の運搬、処分の委託	・契約書の締結と保管(契約終了の日から5年間) ・許可証等の写し保管(更新許可証の確認と差換え)	○ ○
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)	・マニフェスト交付 ・マニフェスト(A票)にマニフェスト写しの返送日を記入 ・運搬、処分状況を委託業者から把握し30日以内に知事へ報告 ・マニフェストを交付順に保管(保管期限:5年間) ・前年度のマニフェスト交付状況を6月末日までに知事へ報告	○ ○ 電子マニフェスト ○ 電子マニフェスト
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・産業廃棄物管理責任者	・産業廃棄物管理責任者の選任	○
	・実地確認	・運搬または処分を委託しようとする時はあらかじめ実施する ・1年以上継続して運搬または処分を委託する時は毎年1回実施する ・実施記録の保管:実施した日から5年間	○ ○ ○
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	・指定地域内の特定施設を設置する工場又は事業所の騒音	・遵守する ・該当特定施設の届出	○ ○
	・特定建設作業に伴う騒音 ・騒音の規制基準の順守 ・騒音測定、記録	・遵守する ・環境測定業者へ依頼中	○ -
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	・指定地域内の特定施設を設置する工場又は事業所の振動	・遵守する ・該当特定施設の届出	○ ○
	・振動の規制基準の順守 ・騒音測定、記録	・環境測定業者へ依頼中	-
労働安全衛生法	・通知対象物質の取扱に関する内容の労働者への周知等	・SDSを入手した化学物質について、取り扱う社員全員に対しSDSのコピーを渡し教育を行う	○
	・有機溶剤 作業主任者	・当該通知対象物質使用現場へSDSを掲示する	○
	・作業環境測定(2回/年)	・作業現場の通気性を確保する ・対象社員の健康診断を実施する(年2回)	○ ○
浄化槽法	・浄化槽の設置届等	・届出済:1987年	○
	・浄化槽の廃止届	・遵守する	-
	・公共用水域等の水質保全	・水質基準の遵守 BOD:20mg/L以下 BOD除去率:90%以下	○
	・法定検査	・年1回 1月に実施する(設置検査実施済:2023年1月13日) ・指定検査機関に委託、実施記録を受けその記録を保管する(保間期限:3年)	○ ○
	・保守点検及び清掃	・業者に委託、実施記録を受けその記録を保管する(保間期限:3年間)	○

環境関連法規等の確認結果並びに違反・訴訟の有無

法規等の名称	適用内容	当社対応	○・×
特定家庭用品機器 再商品化法	・特定家庭用機器(ユニット型エアコン、 冷蔵庫、冷凍庫等)の引取、引渡	・特定家庭用機器の引取、及び指定法人への引渡し	○
【家電リサイクル法】	・特定家庭用機器廃棄物管理票 (マニフェスト)	・排出者へのマニフェスト写しの発行 ・指定法人へのマニフェストの交付 ・マニフェストを交付順に保管(保管期限:3年)	○ ○ ○
特定化学物質の環境 への排出量の把握等 及び管理の改善の促 進に関する法律 【PRTR法】 【化管法】	対象事業者 ①施行令3条に定めた業種 ②常用雇用者数21名以上 ③下記のいずれかに該当する事業者 a. 第一種指定化学物質を年間 1t以上取り扱う b. 特定第一種指定化学物質を年間 0.5t以上取り扱う c. ダイオキシン類対策法の 特定施設設置者	・第一種指定化学物質排出量、移動量の届出を 毎年度6月30日までに届出る	○
フロン排出抑制法	・重機に設置の空調機能力 (7.5Kw未満,以上か) ・機器の使用に関する義務 ①機器の点検の実施 ②点検等の履歴の保存 ③漏洩防止措置など ④フロン類算定漏えい量の報告 ・電動機定格出力に応じ有資格者 による「定期点検」	・7.5Kw未満の簡易点検(1回/3ヶ月)	○
消防法	・危険物の表示 ・消火設備の設置、点検	・危険物の貯蔵又は取り扱いの届け出	○

◎ 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

◎ 訴訟の有無ですが、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

代表者による全体の評価及び見直し・指示

見直し関連情報作成: 秋元 純一、作成年月日: 2024年 4月10日

14-01

項目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 登録審査(2023.12.12実施)の後に指摘された改善提案事項の見直し・改訂を実施しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> CO2排出量、電力・灯油使用量及び紙ごみ他は若干量だが目標未達成となった。運用期間がまだ1年間と短かったことから目標条件は変更しないで継続して取組活動する。
	3 環境経営活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標未達成となった環境負荷要素は、今後達成出来るよう活動計画を再検討して取り組み活動を実施して行きたいです。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> この1年間、環境関連法規制は問題なく遵守出来ました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題無し。静岡工場周辺住民からの苦情・要望等はありませんでした。また環境経営レポートは毎年発行し、ea21中央事務局で公開済み。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> この1年間、取上げるべき大きな問題点はありませんでした。今後もう少し運用を続け、問題点として取り上げる必要を判断して行きます。
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 仙台工場、金成工場及び静岡工場では、2024年度に計画通り、ea21認証・登録することが出来ました。
	8 その他(設備機器類の更新計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降にエアコン、冷蔵庫、フオークリフト等の設備更新を計画

2023年度1年間は環境負荷要素4項目で若干ですが目標未達成でした。その内、電力使用量は1/4~2/4の半期で生産量が、5.5%~12%低下したが生産設備の効率的な利用が出来なかったこと、夏場の猛暑の影響で空調機の稼働に負担が増加し、電力使用量約1.9%目標をオーバーした。灯油使用量はDVP装置での生産量が約4%アップしたことで、灯油使用量も3.1%増加した。一般廃棄物の紙ごみ他の排出量が若干ですが、目標より0.8%(4,000kg→4,030kg)増加した。目標未達成の環境負荷要素は、今後目標達成出来るよう活動計画を再検討して取り組み活動の改善を指示したいです。環境配慮の自社活動として改善提案を推進し、目標40件に対し2023年度の提案実績は63件となった。業務の効率化、品質の向上・安定、安全・衛生の維持、環境配慮の取組改善など、改善提案内容をきめ細かく分析し、次年度以降もより効果的な改善により”業務活動上でのムダ・ムラ・ムリ”を減らし、快適な職場環境を創出していただきたい。

2・代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	2 環境経営目標・計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	3 環境経営活動計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	DVP乾燥炉の熱源変更(灯油→電気)に向け、25年度実行に向け申請スケジュール化【Co2排出削減】 夏季空調設定見直し検討(熱中症リスク)及び、ドア開放禁止/換気取決めによる空調稼働の効率化検討【電力削減】
	4 環境に関する組織	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	5 その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	6 その他(外部への対応)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	

2024年4月25日

ジェイフィルム静岡工場

工場長 伊藤 政明